

# 学習指導案

茨木市立葦原小学校  
指導者

1. 日 時
2. 場 所 教室
3. 学年・組 2年
4. 単元名 ビーバーの大工事（使用図書・動物に関連する図書 教科書:東京書籍 新しい国語 二 下）
5. 単元の目標  
動物について書かれた本や文章などを読み、文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、すごいと感じたことなどを紹介することができる。

## 6. 学校図書館活用のポイント

本単元の学習を進めるにあたって、並行読書材として動物のすごいところを発見できる本を多数用意する。いつでも本を読める環境を整備するために、ブックトラックを使って廊下への配架を行う。多くの本を用意することで、好きな動物や初めて聞いた動物など自分が調べたいと思う動物を選びやすいように工夫する。教材文を使った学習で獲得した「重要な語や文を選び出す」という言葉の力を活用し、児童一人一人が選んだ動物の「ここがすごい！」を見つけられるようにする。学校図書館を活用することで、教材文のような整った文章からだけでなく、様々な本から自分に必要な重要な語や文を選び出す力をつけていきたい。

## 7. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通、相違、事柄の順序などの情報と情報との関係について理解している。(2) ア</li> <li>・ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3) エ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「読むこと」において、重要な語や文を考えて選び出している。C (1) ウ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでに学習したことをふりかえって学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで文章の中の重要な語や文を考えて選び出そうとしている。</li> </ul>

## 8. 指導にあたって

- (1) 児童観
- (2) 教材観

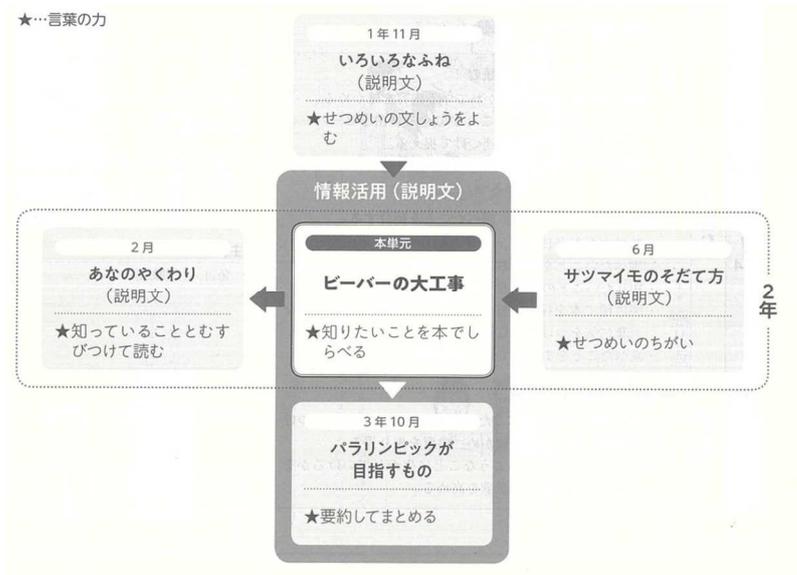
「ビーバーの大工事」の教材文では、ビーバーの巣やダム作りの工程とビーバーの体の構造や機能の関連にきづかせたい。挿絵や写真を手掛かりにしなが、ビーバーの体の特徴をつかみ、叙述と照らし合わせることを通して、叙述をもとにビーバーの体の構造や機能のすごさを見つけられるように指導していく。「ビーバーの大工事」で学んだ、叙述をもとにカードを完成させる経験を自分が選んだ図鑑や本を読む活動につなげていけるようにしたい。

なお本単元では、動物の生態が説明されている図鑑や資料を関連図書として活用する。そのねらいは、1人1人が自分で「ココ！すごカード」を作成するという目標を持って読書し、自分で重要な語や文を選び出すことである。選書の基準としては、わかりやすい書き方で、一文が短く、子どもがひとり読みできるものを重視している。具体的には『くらべてみよう！動物の赤ちゃん』、『てきからみをまもるちえ』などである。（詳細は、下記の関連図書リストを参照。）大半が絵や写真だけのページのものは、「重要な語や文を考えて選び出す」ことが難しくなるため、リストには入れていない。

「ココ！すごカード」を書くための活動では、たくさんの絵本や図鑑の中から自分が紹介したい動物を選び出し、友だちに「ここがすごい。」と伝える活動を繰り返す中で、自信を持って「ココ！すごカード」に書き出せるようにしていきたい。また、自分一人では、カードに書く内容を選ぶことが難しい児童も、友だちとの交流の中で書くことを明確にし、自信を持ってカードを書く活動に取り組めるようにしたい。

「ココ！すごカード」の作成を通して経験した、自分が紹介したいことを相手に伝えるためには、重要な語や文

を選ぶことが大切だということを、今度の学習にもいかし大事な事柄を落とさず選び、まとめる力を伸ばしていけるようにしたい。また、調べ学習をする際は、タブレットの使用もよいが、じっくり手に取って読むことができる図書の良さに気づかせることができるようにしたい。



### (3) 指導観

書くことに苦手意識のある児童が多いため書くことへの抵抗をなくし、「書いてみたい」「書くことが楽しい。」と思えるように、この単元の活動を通して自信をつけられるようにしたい。そのため、カードに書く内容を何度も声に出し、友だちに伝える時間を設ける。カードに書いたことを交流するのではなく、書く前に交流することの利点は、きちんと重要な語や文を読み取ることができているか、友だちと一緒に何度も確認することができる点だと考える。(1)児童観で述べたように、自分一人では本図鑑の文章を読み取ることが難しい児童も多いため、友だちに自分の考えを聞いてもらうことで、書きたい内容がより明確になるようにしたい。一人では難しいことも友だちと一緒にならやり遂げられるとうことを経験させたい。

また、たくさん書かなければならないことを苦痛に感じている児童や長い文章に価値があると思っている児童も少なくない。「ココすご！カード」を完成させるために必要な情報を絞り、見通しを持って活動に参加できるようにしたい。カードの記入する項目を3つに分けることで、どこに何をかければカードが完成するのかをわかりやすくした。カードの完成モデルを示す際に、たくさん書かなくてもよいこと、必要な語や文章が書かれているカードがすばらしいことを確認しておく。定型文の型を示すと書きやすいと感じる児童がいる一方で、上手く型にはめられず苦戦する児童もいるのではないかと考えた。書く内容にある程度の幅を持たせることでその不自由さを解消したいと考え、自分が書きたい内容や量に合わせて、カードを選べるように2パターンのカードを用意した。

個別の手立てが必要な児童には、教師または支援者が横について一緒に本を読んだり、本人がすごいと感じたところを支援者がカードに書き示したりする。本人が選んだ語や文が長く、カードに書くことが難しい場合は、絵本や図鑑のコピーを使い、重要な語や文に線を引く活動をカードの作成に代えて評価するようにする。

9. 単元の指導と評価の計画 (全14時間) ◎…記録に残す評価 ○…指導に生かす評価

時	主な学習内容	知技	思判表	主体	評価規準・評価方法
0	動物に関する絵本や図鑑と出会う。				単元に入る前から、興味のある本に触れられるようにしておく。
1	①学習の見通しを持つ。 ・教師作成の「動物のすごい発見カード」のモデルを見て、学習の見通しを持ち、課題を確かめる。			○	【態】 学習の見通しを立てようとしている。
2 3	②「ビーバーの大工事」を読み、ビーバーのすごいところやそのわけを探しながら、ダム作りの様子とビーバーの巣作りの様子など内容の大体を読む。 ・ビーバーがダムを作ることができる理由をビーバーの体の構造や仕組みと関連づけるなどしながら、交流を通して「すごい」や「そのわけ」を徐々につかむ。	○	○		【知】 ・共通、相違、事柄の順序などの情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思】 ・「読むこと」において、重要な語や文を考えて選び出している。C(1)ウ
4 5	・ビーバーのすごいと思ったところを、「ココ!すごカード」に書く。				【思】 ・「読むこと」において、重要な語や文を考えて選び出している。C(1)ウ
6 7 8 9 10 11 12 13	③ほかの動物について、調べる。 ・いろいろな本や図鑑を読み、友だちに紹介したい動物の「すごい」を見つける。  ・動物に関する絵本や図鑑を読み、それぞれの動物の「すごい」と感じたところを友だちと交流したり、「ココすご!カード」を書いたりする。  ・完成したカードを見合い、感想を伝える。	○	◎	○	【主】 進んで文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、動物について書かれた本や文章などを読み、分かったことなどを紹介しようとしている。 【思】 ・「読むこと」において、重要な語や文を考えて選び出している。C(1)ウ
14	学習をふりかえる。 ・本や図鑑を読むときにどんなことに気をつけて文章を読んだかを確認する。 ・学習したことがどのようなことにかしていけるかを考え、次の学習への意欲を高める。				

10. 本時の展開 (10/14時間目)

(1) 本時の目標

- ・自分が選んだ動物のすごいと思ったところを交流し、「すごい」と思うことを説明する上で重要になる語や文を本や図鑑の文章などから選び出すことができる。

(2) 本時の評価規準

- ・「読むこと」において、重要な語や文を考えて選び出している。C(1)

(3) 展開

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
5分	学習計画表から、本時の学習課題を確認する。	・学習計画表を見て、「ココすご！カード」を完成させる最終目標を確認し、本時の課題を明確にできるようにする。	
自分がえらんだ動物の「すごいところ」のわけをつたえ合ってはっきりさせよう。			
25分	ペアで交流をする。  ペア交流は以下の手順で行う。 ①自席で図鑑を読み返し、自分が何を交流したいかを確認する。 ②マトリックスで相手を見付ける。 ③空いている席にペアで横に並んで座る。 ④「私からでいい？」などと声をかけて、真ん中に図鑑を開いて置く。 ⑤「私がすごいと思ったのはここだよ。一緒に読んでね。」などと言って指さしながら二人で声に出して読む。 ⑥「なるほど。」「〇〇のすごいところがわかったよ。」と一緒に読んだ文からすごいと思ったわけがわかったか確認する。 ・同じ動物を選んだ友だちには「私はここがすごいと思ったよ。」と言ったり、別の動物を選んだ友だちからは「ここもすごいと感じたよ。」と感想を伝えたりする。	・交流のモデル動画を示し、交流がスムーズに行えるようにする。 【モデル動画視聴後の確認事項】 ・ペアの決め方 ・本の文章を指でなぞりながら読む。  ・自分でペアを決められない児童には、困り感を尋ね、「わけをもっとはっきりさせたいなら同じ生き物を選んだ人と交流しよう。」「ここがすごい！やそのわけを友達にもっと知ってもらいたいなら別の生き物を選んだ人と交流しよう」などとペアの選び方をアドバイスする。 ・文章の中の重要な語や文を伝えられていないペアには教師が入り、助言を行う。その際、「すごいと思うわけ」としては以下のようなものを想定しておく。 ○他の動物や人にはできないようなことができるから。 ○体の形が・・・できるようになっているから。 ○餌の取り方や住む場所の工夫 ○身の守り方（自然にとけこんだり、他の生き物と共存したりする）。など  ・交流に慣れてきたら、話し言葉から書き言葉へ文体を変えていけるように指示する。	・「読むこと」において、重要な語や文を考えて選び出している。C（1）ウ （観察、「ココすご！カード」）
10分	交流を繰り返す中で、書きたいことが明確になった児童から、「ココすご！カード」を書き始める。	・自席に戻ったら、もう一度、図鑑の「すごい」と思った箇所の文章を声に出して読んだり、そのわけを言ってみたりした上で書きだすように指示する。	
5分	学習をふりかえる。	・ペア交流を通して、「すごいところ」のわけがよりはっきりしたか確認する。	

(4) 本時における具体的な児童の状況 (※本時の評価規準に関わる場面において)

おおむね満足できる状況 (B)	努力を要する状況 (C) への支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読むことが苦手な児童には、支援者が横について一生に読むようにする。また、本時までに、日常的に図鑑などに親しめるよう、教師が促したり友だち同士で読み合ったりする機会を意図的に設定しておく。</li> <li>書くことに課題がある児童に対しては、図鑑や本のコピーを用意し、本人が選んだ語や文章に線を引いたり、本人が読み上げたものを、支援者がカードに書き示したりするようにする。</li> </ul>

関連図書リスト

シリーズ名	出版社
教科書にでてくる 生きものをくらべよう	Gakken
どうぶつのからだ これ、なあに？	ポプラ社
くらべてみよう どうぶつの赤ちゃん	ポプラ社
くらべてみよう どうぶつの赤ちゃん 第2期	ポプラ社
くらべてよもう どうぶつの赤ちゃん	あかね書房
くらべよう！ どうぶつの赤ちゃん	小峰書店
どうぶつのからだ	偕成社

ココすごーカード  
とくはココすごー

ライオン

はすごい。

ココすごー

つめがすごい。

えものにちかづくときは  
立目をたてないように、つめを  
ひっこめてあるく。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

発覚著



ココすごーカード  
とくはココすごー

ライオン

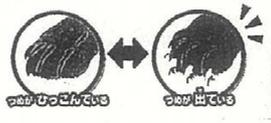
はすごい。

ココすごー

つめがすごい。

えものにちかづくときは、  
音をたてないように、つめ  
をひっこめてあるく。

えものをとらえるときは  
つめを出して  
ぶきにする。  
つめはといで  
するどくする。



発覚著

